

各 位

中四国地方で初の

## 『CMM I』レベル3達成

株式会社ミウラは、2005年3月にインドのシリコンバレーとも言われ、IT企業が多く集まるバンガロール市に本社を置くマインドツリー社と『技術力の底上げ』と『グローバル化の推進』を狙いとして、業務提携を行いました。

マインドツリー社は、ソフトウェアのプロセス改善モデルの国際的なデファクトスタンダードである『CMM I (\*1)』において最高水準であるレベル5を達成している企業でもあり、当社もそれに追従すべく同社のコンサルタントによるプロセス改善活動を強かに推進し、また、アプレイザル(評定)に関してもハイレベルと言われる、インドのKPMG社のリードアプレイザーに委託し公正なアプレイザルの結果、2008年8月22日にレベル3を達成しました。

国内では、中四国地方に本社を置き、CMM Iに取り組みレベル3を達成した企業は初めてです。

当社は、これまでもお客様に高い満足感をお持ち頂き信頼される企業作りを目指し、ISO9001(QMS)やプライバシーマーク(PMS)などの認証取得をすると共に、品質向上と生産性向上を目標としたプロセス改善活動を長期間にわたり進めてきましたが、今回、CMM Iレベル3達成が確認されたことで、これらの活動の成果として当社の組織力と技術力が高い水準に到達していることを客観的に評価して頂けたものと考えております。

また、今回の結果をプロセス改善レベルの確認通過点と捉え、今後も継続的に改善活動を推進しお客様に更なる高い満足感を持って頂けるソリューションをご提供できるよう、日々努力して参ります。

平成20年11月6日

株式会社 ミウラ

代表取締役社長 三浦 信夫

(\*1) CMM I (Capability Maturity Model Integration)

CMM Iは、ソフトウェアの品質向上を目指してSEIが開発した「能力成熟度モデル(CMM for software)」の最新版で、ハードウェアやサービス業務も含んだ統合モデルとして開発されたものです。